

東証プライム 3837



2024年3月期

# 決算説明会資料

2024年5月15日

アドソル日進 代表取締役社長兼COOの  
篠崎俊明でございます。

本日はお忙しい中、  
アドソル日進の決算説明会にご参加いただき、  
まことにありがとうございます。

ご説明の資料は、  
皆様のモニターの右側に表示されますので  
合わせてご覧ください。



- 01 業績ハイライト

---

- 02 2024年3月期 連結業績

---

- 03 2025年3月期 業績予想

---

- 04 株主還元

---

- 05 中期経営計画「New Canvas 2026」

---

- 06 中期経営計画の進捗

---

- 07 資本コストと株価を意識した経営の実現に向けた対応

本日は、ご覧の項目をご説明いたします。



## 01 業績ハイライト

- 総括
- 2024年3月期 業績ポイント  
(売上高・営業利益 / 受注高・受注残高)
- エネルギー(電力領域) 業績推移
- 2024年3月期 配当

まずはじめに、業績ハイライトをご説明します。

## 総括

2024年3月期  
業績

「売上高」「営業利益」「営業利益率」過去最高を更新!!

■ 売上高 140.7 億円 (前期比 9.6%増)

- ・ 社会インフラ関連システム(電力・ガス、航空、宇宙等)が堅調に推移
- ・ 業務効率化や新サービス創出につながるDXシステム対応が好調

■ 営業利益 14.3 億円 (前期比 18.8%増)

(営業利益率 10.2%)

- ・ 売上総利益率の良化 : コンサルティング対応拡大、契約条件の見直し、品質強化策、オフショア開発等
- ・ 戦略投資を上回る利益創出

戦略投資: 全社員を対象とした処遇改定(平均5%、最大30%)、人材育成・リスキリング、生成AIへの取り組み、  
オフショア開発体制強化(ベトナム)、製品・ソリューション開発、オフィス増床、プロモーション等

2024年3月期  
配当

「期末配当」増配 / 「14期連続」増配!!

■ 年間配当 43 円 (前期比 5円増配)

- ・ 業績予想の超過達成や、配当方針等をふまえ、期初予想から4円増配
- ・ 14期連続増配!!

業績、及び配当はご覧のとおりです。

業績面では、期初計画を超過達成し、  
売上高、営業利益、営業利益率のいずれも  
過去最高を更新しました。

特に営業利益率は、中期経営計画 最終年度の目標値を  
2年前倒しで達成することができました。

次に配当は、期初計画から「4円増配」し、  
前期比「5円の増配」となる、  
「年間43円」とし、14期連続増配を達成する見通しです。

総括としては、中期経営計画の1年目を、  
非常にいい形で終え、2年目につなぐことができました。

それでは次のスライドから、業績のポイントをご説明します。

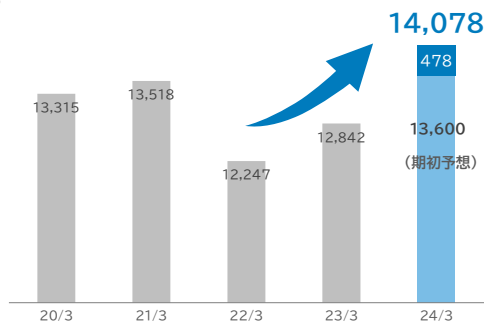
「売上高」「営業利益」「利益率」過去最高を更新!!

## 売上高

14,078百万円 (9.6%増)

社会インフラ : エネルギー(電力)、交通・運輸(航空・宇宙)  
先進インダストリー: 製造/サービス(DX)

(百万円)

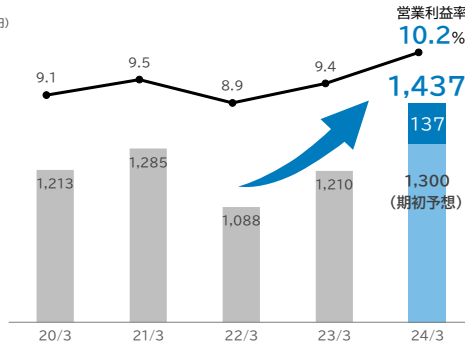


## 営業利益

1,437百万円 (18.8%増)

・コンサルティング拡大、契約条件の見直し、オフショア開発等  
・戦略投資(人材、AI他)とコストコントロールの両立

(百万円)



Copyright © 2024 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

5

まず、売上高ですが、  
当社の主力事業であるエネルギー領域等の  
ICT投資を取り込んだ結果、  
期初計画を「478百万円」超過し、  
前期比「9.6%増」となる「14,078百万円」で  
着地しました。

営業利益は、  
コンサルティングなど高収益案件の拡大や、  
契約条件の改定などによって売上総利益率が良化し、  
人材育成やオフィス増床などの戦略投資や、  
処遇改定による販売管理費の増加を吸収した結果、  
期初計画から「137百万円増」、  
前期とくらべ「18.8%増」となる、  
「1,437百万円」となりました。

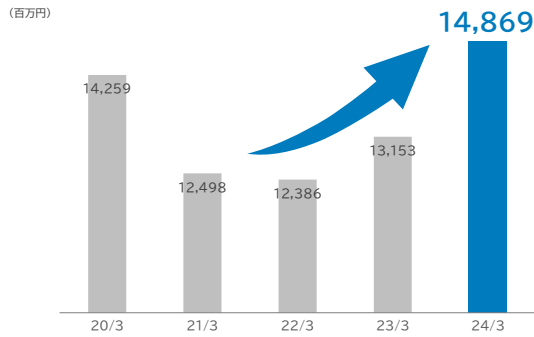
また、営業利益率は「10.2%」と、  
前期比で「0.8ポイント」アップしています。

「受注高」「受注残高」過去最高を更新!!

受注高 (累計)

14,869百万円 (13.0%増)

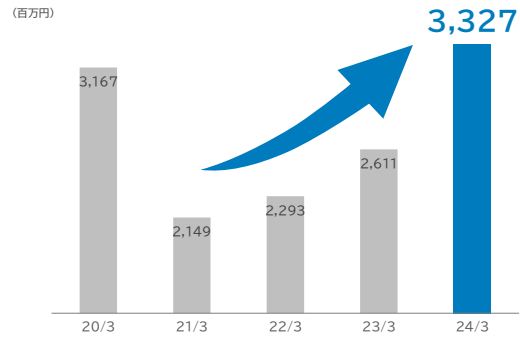
年間受注高 過去最高  
(エネルギー、公共、サービス分野でのDX案件増加)



受注残高

3,327百万円 (27.4%増)

期末受注残高 過去最高  
(長期・大型案件受注 : エネルギー、公共等)



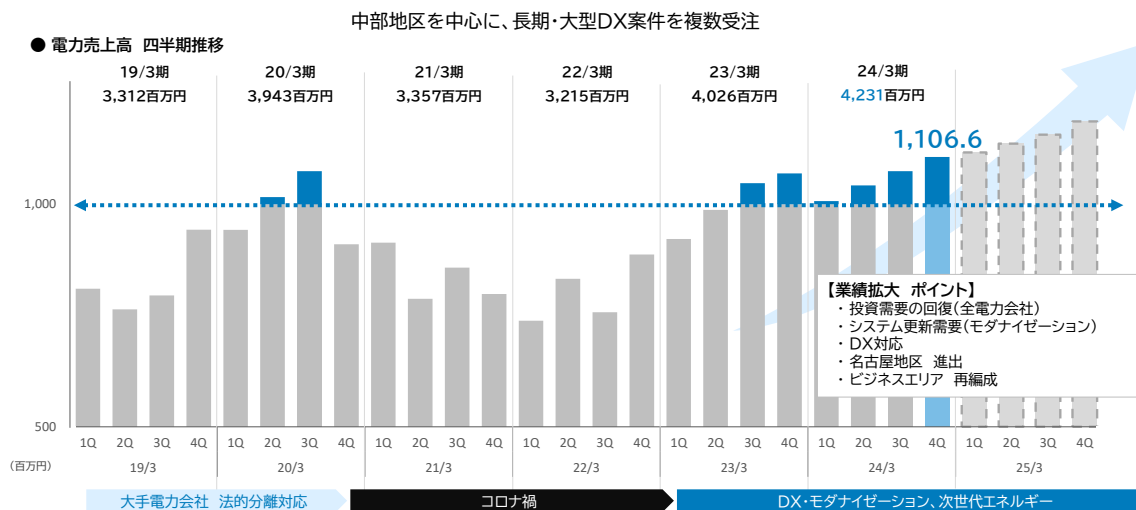
Copyright © 2024 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

次に、先行指標となる受注高・受注残高の状況です。

DX・モダナイゼーションを中心に、受注が好調に推移していることから、受注高は、「13.0%増」の「14,869百万円」、受注残高は、「27.4%増」の「3,327百万円」となり、いずれも過去最高となりました。

## エネルギー（電力領域）業績推移

エネルギー（電力）：過去最高売上高（年間／四半期）を更新！！



ここで、当社の最重要ビジネスの一つである、電力事業の業績推移をご説明します。

2020年3月期に、大手電力会社向けの分社化・法的分離案件を中心に大きく業績を拡大しました。

その後、コロナの影響を受けましたが、2023年3月期 第3四半期からは、「四半期売上高：10億円」ラインを突破・維持しています。

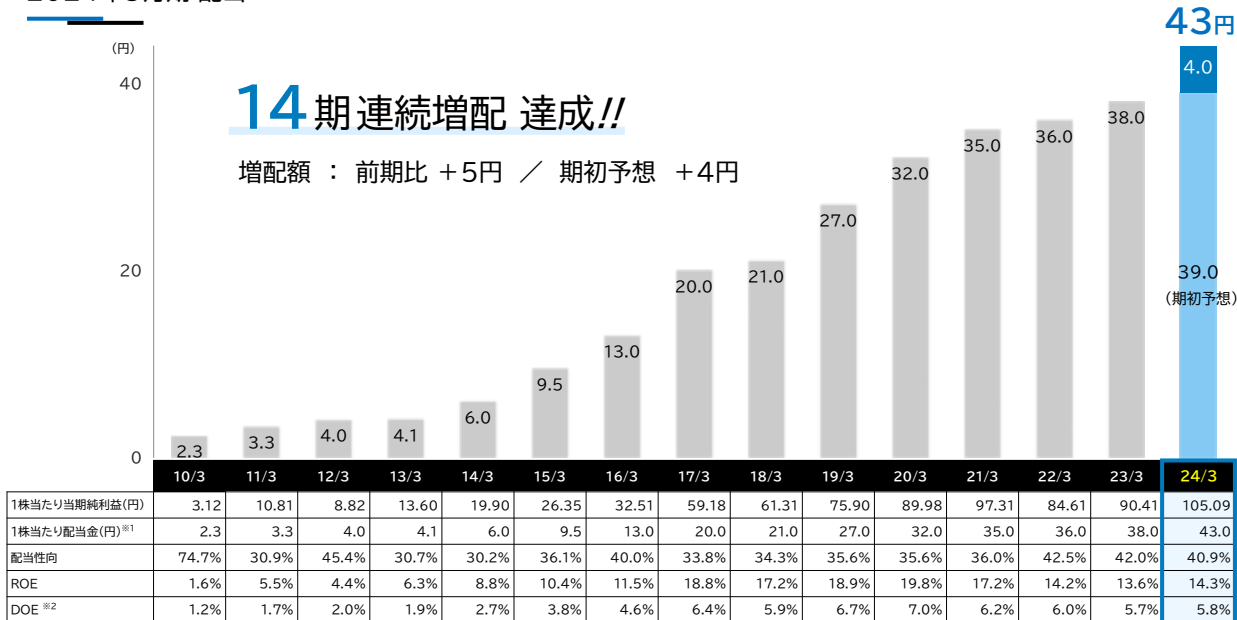
この成長には、レガシーシステムの更新やDX対応といった新たな投資の拡大、さらに、2023年4月にオフィスを開設した名古屋でのビジネスが進んでいることが、大きく寄与しています。

また、東京、大阪、福岡と名古屋の4拠点に絞り、経営資源を集中投下していることもポイントです。

今後は、「四半期：10億円以上」をベースにさらなるビジネスボリュームの底上げを目指します。そのための新たな取り組みについてはのちほどご説明します。

1. 業績ハイライト

2024年3月期 配当



※1 2010年3月期から2017年3月期までの1株当たり当期純利益及び1株当たり配当金は、株式分割を考慮した額を記載しています（2016年10月1日に1株につき2株、2014年1月1日に1株につき3株の株式分割を実施）。

※2 DOE(自己資本配当率) = 配当性向 × ROE

Copyright © 2024 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

2024年3月期の配当につきましては、先ほどご説明したとおり「年間43円」を予定しています。

2025年3月期の配当予想についてはのちほどご説明します。





## 02 2024年3月期 連結業績

- 損益計算書
- セグメント別業績
- 四半期推移
- 経常利益の分析
- 貸借対照表
- キャッシュ・フロー計算書

続いて、2024年3月期の連結業績をご説明します。

## 損益計算書

・【売上高】成長加速!! 【利益】売上総利益率 過去最高!!

(単位:百万円)	2023/3	2024/3			ポイント
	実績	実績	増減額	増減率(%)	
<b>売上高</b>	12,842	<b>14,078</b>	<b>1,236</b>	<b>9.6</b>	【ICT投資拡大】 ・社会インフラ事業 (電力・ガス: モダンイゼーション新規案件受注) ・先進インダストリー事業 拡大 (製造分野、サービス分野: DX案件)
社会インフラ事業	7,545	8,275	729	9.7	
先進インダストリー事業	5,296	5,803	506	9.6	
うち、ソリューション事業	889	1,078	189	21.4	
<b>売上総利益</b>	3,364	<b>3,809</b>	<b>444</b>	<b>13.2</b>	【売上総利益率: 過去最高を更新】 ・契約条件の見直し ・上流工程(コンサルティング) ・オフショア開発(ベトナム・ダナン) ・品質強化
売上総利益率 (%)	26.2	27.1	-	-	
<b>販売管理費</b>	2,154	<b>2,371</b>	<b>217</b>	<b>10.1</b>	【戦略投資を継続】 ・人材: 新入社員(2023年4月34名、2024年4月38名) ・エンゲージメント: 処遇改定・社内システムDX化 ・名古屋オフィス新設、本社オフィスプロジェクトルーム増床
販売管理費率 (%)	16.8	16.8	-	-	
<b>営業利益</b>	1,210	<b>1,437</b>	<b>227</b>	<b>18.8</b>	【増益、利益率アップ】 ・増収効果: エネルギー領域、DX案件の拡大等 ・コストコントロールの推進 ・処遇改定(平均5%、最大30%)キャッチアップ
営業利益率 (%)	9.4	10.2	-	-	
<b>経常利益</b>	1,244	<b>1,485</b>	<b>241</b>	<b>19.4</b>	
経常利益率 (%)	9.7	10.5	-	-	
<b>当期純利益</b>	841	<b>979</b>	<b>137</b>	<b>16.4</b>	
当期純利益率 (%)	6.6	7.0	-	-	

※ 2024年3月期より売上計上方法の一部を変更したことに伴い、当連結会計年度において売上高: +42百万円、営業利益: +15百万円の影響が発生しています。

Copyright © 2024 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

10

まず、損益計算書は、ご覧のとおりです。  
売上高から、各段階利益、および利益率のいずれも  
過去最高を更新しました。

コンサルティング領域へのシフトや、  
契約単価の改定などにより  
売上総利益率が「27.1%」と良化したことが、  
過去最高の利益、利益率となった  
大きな要因として挙げられます。

一方、販売管理費は増加していますが、  
これは、人材育成・処遇改定やオフィス増床、  
ベトナムでの対応力強化など、  
2030年以降の持続的成長を見据えた  
戦略投資によるものです。  
なお、販管費率としては、  
前期と同じ、「16.8%」を維持しております。

今後も、売上総利益率の改善・良化の取組みと並行して  
成長投資とコストコントロールを複合的に推進することで、  
収益力の強化と利益率改善を図ってまいります。

## セグメント別業績

- ・成長けん引：【社会インフラ】 エネルギー(電力・ガス)、交通・運輸 、【先進インダストリー】 サービス(DX案件)

(単位:百万円)	2023/3		2024/3			
	実績	構成比(%)	実績	構成比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	12,842	-	14,078	-	1,236	9.6
社会インフラ事業	7,545	58.8	8,275	58.8	729	9.7
エネルギー	6,051	47.1	6,544	46.5	492	8.1
交通・運輸	689	5.4	826	5.9	136	19.8
公共	344	2.7	548	3.9	204	59.4
通信・ネットワーク	460	3.6	355	2.5	△104	△22.8
先進インダストリー事業	5,296	41.2	5,803	41.2	506	9.6
製造	1,557	12.1	1,657	11.8	100	6.4
サービス	2,506	19.5	2,755	19.6	248	9.9
エンタープライズ	1,232	9.6	1,390	9.9	158	12.8
うち、ソリューション事業	889	6.9	1,078	7.7	189	21.4

(注) 2024年3月期より、先進インダストリー事業のサブセグメントを「製造」「サービス」「エンタープライズ」に変更しました。また、これまで先進インダストリー事業のサブセグメントとして分類していた「ソリューション」分野は、「ソリューション事業」として全社横断的な戦略事業と位置づけています。これにより、前連結会計年度の「ソリューション」分野の数値については、社会インフラ事業、先進インダストリー事業の各サブセグメントに組み替えて表示しています。

Copyright © 2024 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

続いて、セグメント別の業績をご説明します。

- 
- ※ 2024年3月期より、先進インダストリー事業のサブセグメントを「製造」「サービス」「エンタープライズ」に変更しました。  
また、これまで先進インダストリー事業のサブセグメントとして分類していた「ソリューション」分野は、「ソリューション事業」として全社横断的な戦略事業と位置づけています。  
これにより、前連結会計年度の「ソリューション」分野の数値については、社会インフラ事業、先進インダストリー事業の各サブセグメントに組み替えて表示しています。

## 社会インフラ事業

(単位:百万円)	売上高		受注残高		ポイント
	23/3	24/3	23/3	24/3	
社会インフラ事業	7,545	8,275	1,505	2,214	・DXモダナイゼーション(クラウド移行、システム刷新など) ・長期・大型案件を複数受注
エネルギー	6,051	6,544	1,190	1,803	【エネルギー】 ・電力 : 中部地区 対応領域拡大 ・ガス : モダナイゼーション、クラウド移行
交通・運輸	689	826	108	95	【交通・運輸】 ・航空 : キャリア向け大型プロジェクト完遂、保守継続 ・道路 : 商流・対応領域拡大 ・宇宙 : 対応領域拡大
公共	344	548	86	227	【公共】 ・防災・レジリエンス : 拡大 ・安全保障システム : 領域拡大
通信・ネットワーク	460	355	120	88	【通信】 ・基地局 : 継続

Copyright © 2024 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

12

社会インフラ事業の業績詳細です。

- ・「エネルギー分野」は、  
電力領域において、  
中部地区での新たなビジネスが好調に推移し  
複数のDX案件を受注しました。  
ガス領域では、モダナイゼーション、  
クラウド移行などの案件に取り組みました。
- ・「交通・運輸分野」では、  
宇宙や道路で、対応領域が拡大しました。  
また、航空キャリア向け案件では、  
大型プロジェクトを完遂しました。
- ・「公共分野」では、  
安全保障システムや、防災が拡大しました。
- ・「通信分野」では、  
無線基地局のシステムなどに継続して取り組みました。

結果、売上高は、「8,275百万円」と、  
「9.7%」の増収となりました。  
受注残高も、「2,214百万円」と、  
大きく増加しています。

## 先進インダストリー事業

(単位:百万円)	売上高		受注残高		ポイント
	23/3	24/3	23/3	24/3	
先進インダストリー事業	5,296	5,803	1,105	1,112	・DX案件を中心に事業拡大 (新サービスの創出、ビジネス変革、生産性向上等)
製造	1,557	1,657	308	275	【製造】 ・DX案件 : 拡大(製品開発、基幹システム刷新等) ・自動車 : 継続(先進EV、自動運転)
サービス	2,506	2,755	652	697	【サービス】 ・ペイメント : 拡大(デジタルサービス、上流対応等) ・DX案件 : 拡大
エンタープライズ	1,232	1,390	143	139	【エンタープライズ】 ・基幹システムDX : 継続 ・医療・ヘルスケア : 継続(機器/医療情報システム)

Copyright © 2024 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

13

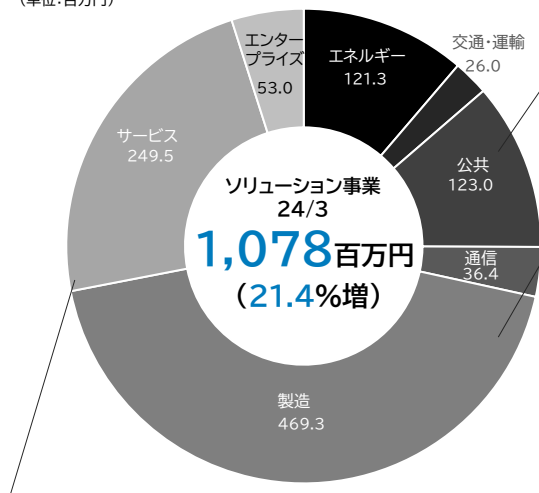
続いて、先進インダストリー事業です。

- ・「製造分野」は、  
大手メーカー向けのDX関連システムが拡大し、  
自動車領域も継続しました。
- ・「サービス分野」では、  
キャッシュレス決済やクレジットカード等の  
ペイメント領域や  
DX・デジタル関連の案件が拡大しました。
- ・「エンタープライズ分野」では、  
ローコード／ノーコードを活用したDX対応に  
継続して取り組みました。  
医療・ヘルスケア領域は計画どおり推移しました。

結果、売上高は、「5,803百万円」と、  
「9.6%」の増収となりました。  
なお、受注残高は、「1,112百万円」となりました。

2. 2024年3月期 連結業績  
ソリューション事業

(単位:百万円)



- ・増収
- ・公共分野: 拡大(防災関連)、製造分野・サービス分野: 好調



【公共】

- ・自治体向けGISソリューション(防災等)



【製造】

- ・製造業向けIoTソリューション



【サービス】

- ・建設/測量コンサル向けGISソリューション
- ・物流向けIoTソリューション

Copyright © 2024 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

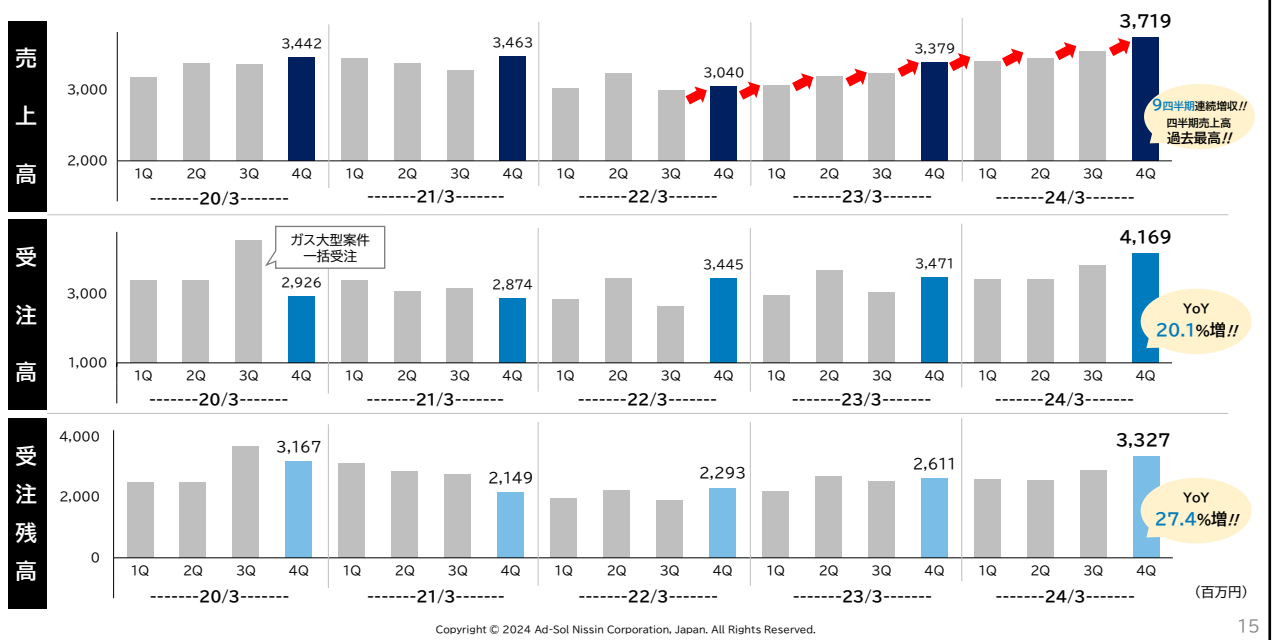
14

続いて、ソリューション事業です。

公共分野における自治体向けのGISソリューションや、製造・サービス分野におけるIoTソリューション等が好調に推移しました。

これらの結果、売上高は「1,078百万円」と、「21.4%」の増収となりました。

四半期推移



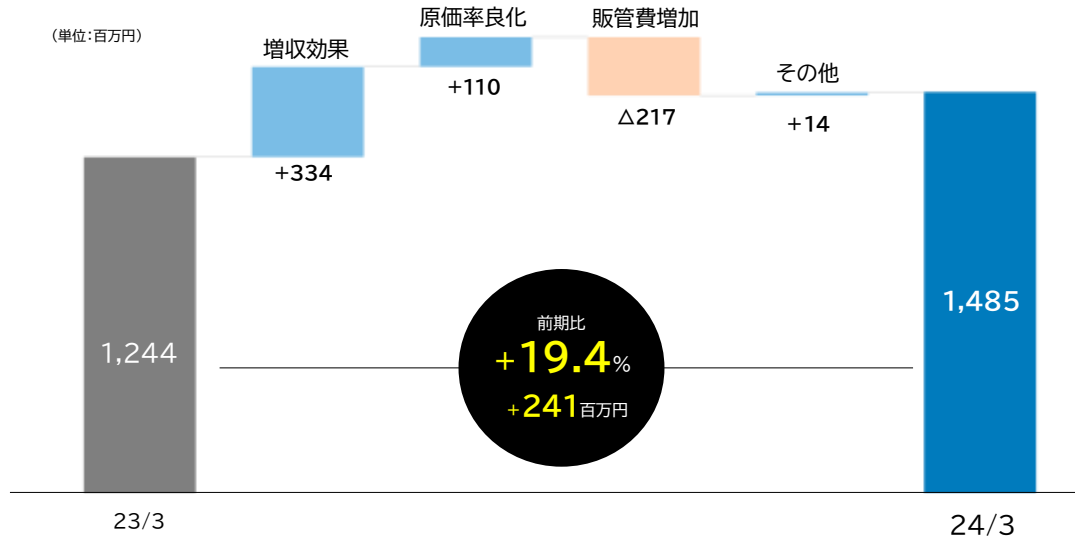
四半期ごとの売上高、受注高、受注残高は、  
ご覧のとおりです。

売上高は、「9四半期連続の増収」となり、  
四半期の売上高として、過去最高を更新しました。

また、  
受注高は、「20.1%増」、  
受注残高も、「27.4%増」と  
第4四半期としての過去最高を更新し、  
好調に推移しています。

経常利益 増減分析

増収効果と原価率の良化が販売管理費の増加(人件費、オフィス開設・増床等)を吸収し、増益で着地



続いて、経常利益の分析です。

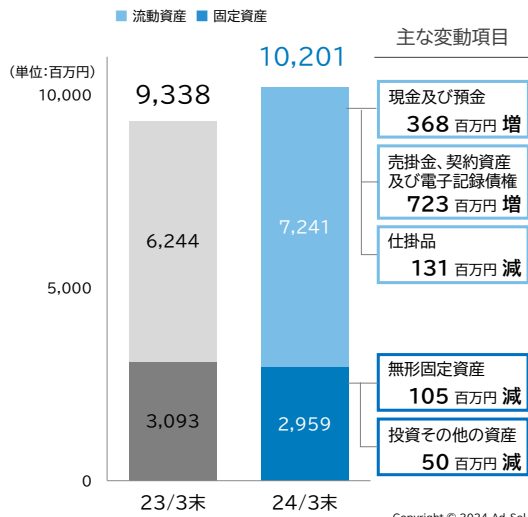
増収効果・原価率の良化が、販売管理費の増加を吸収し、「19.4%増」となる「1,485百万円」となりました。



貸借対照表

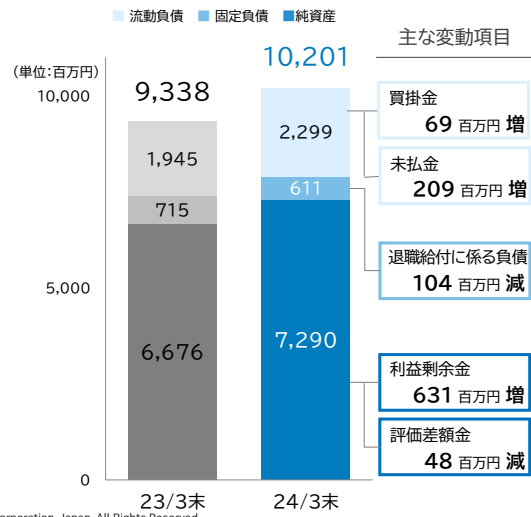
資産

・ 総資産 102億円



負債・純資産

・ 自己資本比率 70.1%



Copyright © 2024 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

貸借対照表は、ご覧のとおりです。

自己資本比率は、「70.1%」と、健全な状況を保っています。

## キャッシュ・フロー計算書

	23/3	24/3	主な変動要因	
営業活動によるCF	1,020	804	税金等調整前当期純利益	1,463
			減価償却費	140
			退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△104
			売上債権の増減額(△は増加)	△641
			未払金の増減額(△は減少)	184
投資活動によるCF	△99	△71	有形固定資産の取得による支出	△22
財務活動によるCF	△336	△364	配当金の支払額	△363
現金及び現金同等物の 期末残高	3,391	3,759		

キャッシュ・フローの状況はご覧のとおりです。



## 03 2025年3月期 業績予想

- 2025年3月期 業績予想
- 事業拡大に向けて

次に、2025年3月期の業績予想をご説明します。

3. 2025年3月期 業績予想  
2025年3月期 業績予想

通期：最高売上・最高利益・最高利益率の連続更新 / 中期計画業績目標(営業利益) 前倒し達成へ!

- ・2024年3月期を上回る戦略投資を予定。
- ・コスト増加分を吸収し、上期・通期ともに最高売上・最高利益の連続更新へ

戦略投資：上期…本社プロジェクトルーム増床、九州支社移転(イニシャルコスト)、ベトナムオフショア開発体制、新卒入社  
下期…人材育成、九州支社移転(ランニングコスト)、新社内システム構築

(単位:百万円)	2024/3期 実績		2025/3期 業績予想		通期予想 増減額	通期予想 増減率(%)
	上期	通期	上期	通期		
売上高	6,835	14,078	7,000	14,500	421	3.0
営業利益	709	1,437	720	1,500	62	4.3
営業利益率(%)	10.4	10.2	10.3	10.3	-	-
経常利益	739	1,485	740	1,540	54	3.7
経常利益率(%)	10.8	10.5	10.6	10.6	-	-
当期純利益	481	979	485	1,010	30	3.2
当期純利益率(%)	7.0	7.0	6.9	7.0	-	-

Copyright © 2024 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

20

上期の業績見通しは、  
売上高「7,000百万円」、  
営業利益「720百万円」、  
営業利益率「10.3%」と、  
「最高売上・最高利益の連続更新」を計画しています。

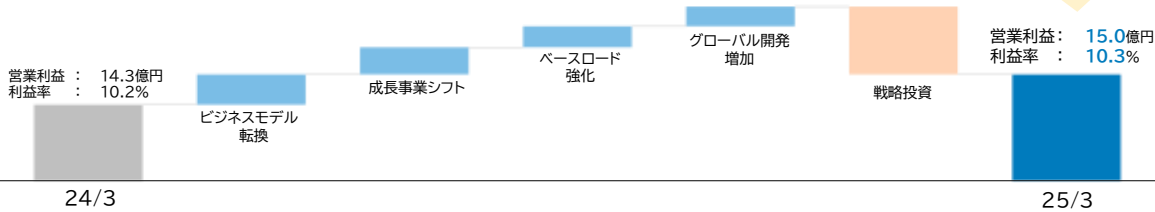
通期業績は、  
売上高「14,500百万円」、  
営業利益「1,500百万円」、  
営業利益率「10.3%」と、  
「最高売上・最高利益」に加え、  
「最高利益率の連続更新」に、挑戦します。

特に、営業利益は、「1,500百万円」と、  
中期経営計画 最終年度の目標額の  
前倒し達成を目指します。

3. 2025年3月期 業績予想  
事業拡大に向けて：取り組み方針

2025年3月期の成長ポイント・戦略投資と、利益の相関(イメージ)

2030年以降の  
成長加速へ!



成長 ポイント	①ビジネスモデルの転換	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上流工程(コンサルティング)シフト</li> <li>・ソリューションビジネス 拡大 (GIS:地理情報システム他、新ソリューション展開)</li> <li>・アライアンスビジネス 拡大</li> </ul>
	②成長事業へのシフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代エネルギー(スマートグリッド、VPP他)</li> <li>・スマートインフラ/ライフ(モビリティ、レジリエンス、エネルギー)</li> </ul>
戦略投資	③ベースロードの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DX/モダナイゼーションビジネス 拡大</li> <li>・契約条件改定</li> <li>・エリア戦略(名古屋、福岡)</li> </ul>
	④グローバル開発増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オフショア開発(ベトナム・ダナン開発センター)</li> </ul>
	①人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新技術習得、リスキリング(コンサルティング、プロジェクトマネージャ他)、処遇改定、採用(新卒、経験者)</li> </ul>
	②ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新ソリューション創出・拡充、販売網強化(GIS:地理情報システム、IoT空間情報)</li> </ul>
	③グローバル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベトナム・ダナン開発センター対応力強化、高度IT人材育成(ベトナム1,000名体制へ)</li> </ul>
	④R&D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AI、開発モデル等(米国サンノゼ・R&amp;Dセンター、AI研究所(社内R&amp;D組織)、産学連携、国立研究機関他)</li> </ul>
	⑤オフィス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移転・リニューアル(九州支社他)、増床(開発プロジェクトルーム)</li> </ul>
	⑥プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティング、セールス、ブランド</li> </ul>

Copyright © 2024 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

21

2025年3月期は、  
2030年以降の持続的成長に向けた  
地盤固めの1年と位置づけています。

成長と戦略投資のポイントをスライドに記載していますが  
特に、成長のポイントとして、

- ・コンサルティングシフトなど、ビジネスモデルの転換
- ・中期経営計画 成長事業へのシフト
- ・契約条件の改定などベースロードの強化  
などに取り組めます。

また、戦略投資としては、

- ・人材、
- ・ソリューション、
- ・ベトナム・ダナン開発センターの増強、
- ・生成AIをはじめとする研究開発、
- ・九州支社リニューアルなどのオフィス投資  
などを行います。

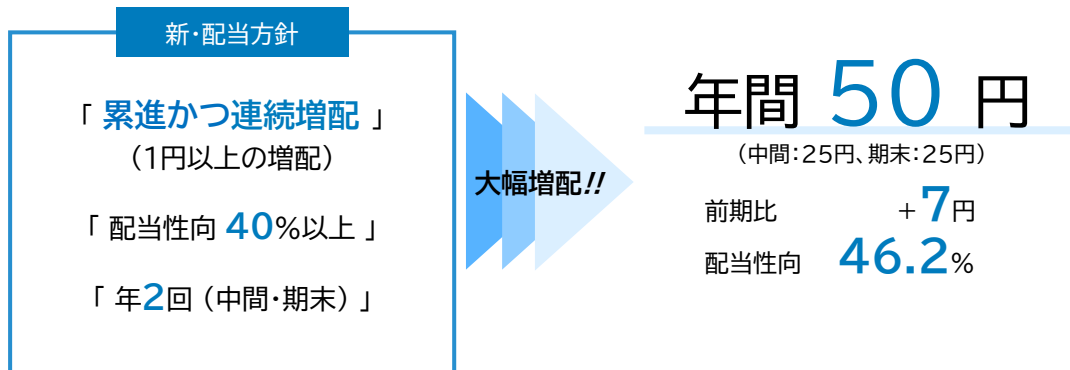


## 04 株主還元

- 2025年3月期 配当予想
- 一株当たり配当金の推移
- 株主優待

次に、株主還元についてご説明します。

株主還元強化に向け配当方針を変更 / 「15期連続増配」へ



このたび、株主還元強化に向け、配当方針を変更しました。

新たな配当方針のポイントは3つ、

- ・每期1円以上の増配を行う「累進かつ連続増配」、
- ・「配当性向 40%以上」
- ・「中間、期末の年2回」

です。

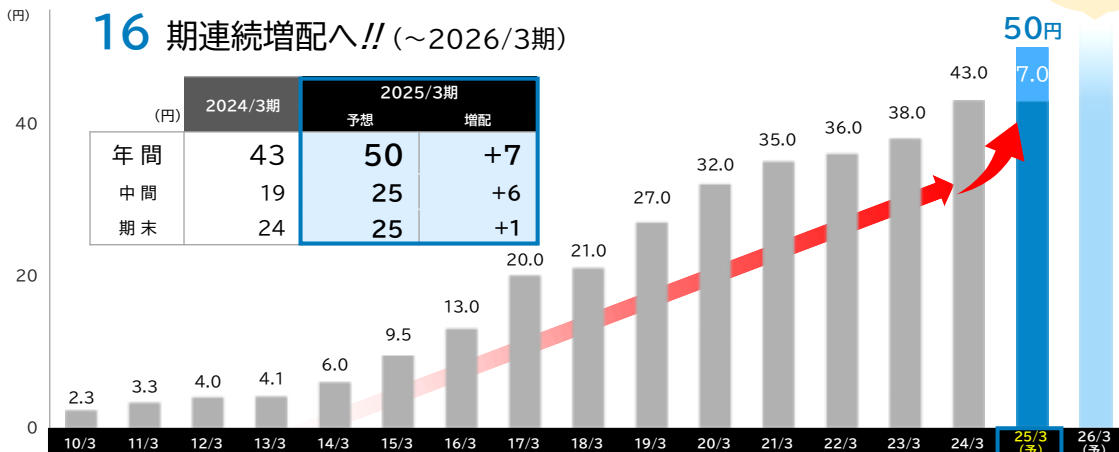
なお、2025年3月期の年間配当金は、  
前期より7円の増配となる「50円」とし、  
「15期連続の増配」を目指します。

4. 株主還元

一株当たり配当金の推移

創立  
50周年!!

16 期連続増配へ!! (~2026/3期)



	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3 (予)	26/3 (予)
1株当たり当期純利益(円)	3.12	10.81	8.82	13.60	19.90	26.35	32.51	59.18	61.31	75.90	89.98	97.31	84.61	90.41	105.09	108.34	
1株当たり配当金(円) ※1	2.3	3.3	4.0	4.1	6.0	9.5	13.0	20.0	21.0	27.0	32.0	35.0	36.0	38.0	43.0	50.0	
ROE	1.6%	5.5%	4.4%	6.3%	8.8%	10.4%	11.5%	18.8%	17.2%	18.9%	19.8%	17.2%	14.2%	13.6%	14.3%	前年比増目標	
配当性向	74.7%	30.9%	45.4%	30.7%	30.2%	36.1%	40.0%	33.8%	34.3%	35.6%	35.6%	36.0%	42.5%	42.0%	40.9%	46.2%	
DOE ※2	1.2%	1.7%	2.0%	1.9%	2.7%	3.8%	4.6%	6.4%	5.9%	6.7%	7.0%	6.2%	6.0%	5.7%	5.8%	前年比増目標	

※1 2010年3月期から2017年3月期までの1株当たり当期純利益及び1株当たり配当金は、株式分割を考慮した額を記載しています(2016年10月1日に1株につき2株、2014年1月1日に1株につき3株の株式分割を実施)。  
 ※2 DOE(自己資本配当率)=配当性向×ROE  
 Copyright © 2024 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

中計 最終年度は、創立50周年です。  
 ここで、「16期連続増配」を達成できるよう、  
 経営を進めます。

また、今後も、投資家の皆様にとって魅力ある  
 株主還元のあり方について、  
 内部留保や成長投資とのバランス、  
 ROEや財務指標などを踏まえて  
 多角的に議論し、検討していきます。



4. 株主還元  
株主優待

対象株主&時期	優待内容							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 年2回（9月末/3月末の株主様）</li> </ul> </li> <li>・送付時期               <ul style="list-style-type: none"> <li>200～4,000株                   <ul style="list-style-type: none"> <li>- 12月/6月にQUOカードを発送予定</li> </ul> </li> <li>4,000株以上                   <ul style="list-style-type: none"> <li>- 11月/5月にカタログを発送予定</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 200～4,000株               <ul style="list-style-type: none"> <li>QUOカード（緑の募金付）を贈呈                   <table border="1" data-bbox="595 293 899 407"> <tr> <td>200～1,000株</td> <td>500円相当</td> </tr> <tr> <td>1,000～2,000株</td> <td>1,000円相当</td> </tr> <tr> <td>2,000～4,000株</td> <td>1,500円相当</td> </tr> </table> </li> <li>◆ 保有期間特典                   <ul style="list-style-type: none"> <li>1年以上保有いただいている株主様にQUOカードを年間2枚追加贈呈 ※ 500円相当×2枚</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・ 4,000株以上               <ul style="list-style-type: none"> <li>3,000円相当の品からご希望に応じて贈呈                   <ul style="list-style-type: none"> <li>- QUOカード（緑の募金付）</li> <li>- 株主優待カタログ                       <ul style="list-style-type: none"> <li>紀州梅 / みかんジュース / みかんゼリー / お米 等</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <div data-bbox="955 426 1292 692"> </div> <p data-bbox="961 707 1299 724">注. 写真はイメージで実際の商品と異なる場合があります。</p>		200～1,000株	500円相当	1,000～2,000株	1,000円相当	2,000～4,000株	1,500円相当
200～1,000株	500円相当							
1,000～2,000株	1,000円相当							
2,000～4,000株	1,500円相当							

Copyright © 2024 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

株主優待です。

配当に加え、保有株数に応じた優待制度を設けており、「梅ギフト」や「クオカード」を年2回贈呈しています。



## 05 中期経営計画「New Canvas 2026」

- ポイントと2024年3月期進捗
- 中期事業戦略 フレームワーク
- 成長事業でのフォーカス領域
- ビジネス構造改革

26

続いて、2023年5月に策定した  
中期経営計画「New Canvas 2026」の  
進捗をご説明します。

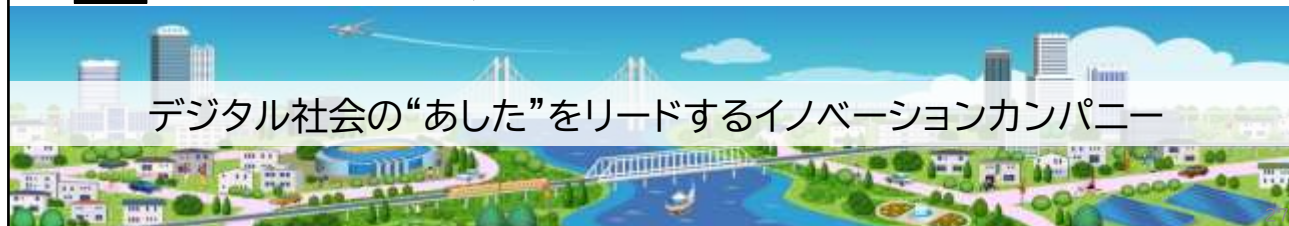
---

当社ウェブサイトにも詳細を掲載していますので あわせてご覧ください。

URL <https://www.adniss.jp/ir/library/mid-term-plan.html>

## ポイントと2024年3月期進捗

	テーマ/方向性	目標/施策	24/3期 進捗
<b>業績目標</b>	・ <b>最高業績 連続更新!!</b>	2026年3月期 売上高 <b>150</b> 億円 営業利益 <b>15</b> 億円以上 営業利益率 <b>10</b> %以上	◎ 過去最高業績 営業利益率 中計目標達成
<b>株主還元</b>	・ <b>連続増配 継続!!</b> ・ <b>配当性向 引き上げ!!</b>	<b>16</b> 期連続増配へ / 配当性向 <b>40</b> %以上	◎ 14期連続増配 配当性向 <b>40.9</b> %
<b>UP DATE</b> <b>事業戦略</b>	・ <b>サステナブルな社会への貢献 (ESG/SDGs)</b>	・成長事業① : 次世代エネルギー ・成長事業② : スマートインフラ/ライフ ・ベースロード : エンタープライズ DX/モダナイゼーション	△ 注力領域の明確化 (p.29~30)
<b>UP DATE</b> <b>企業戦略</b>	・ <b>企業価値・株主価値の向上</b>	・投資、人的資本、グローバル、R&D、サステナビリティ ・資本コストと株価を意識した経営に向けた計画の策定・実行	△ 現状分析~計画策定へ (p.43~45)

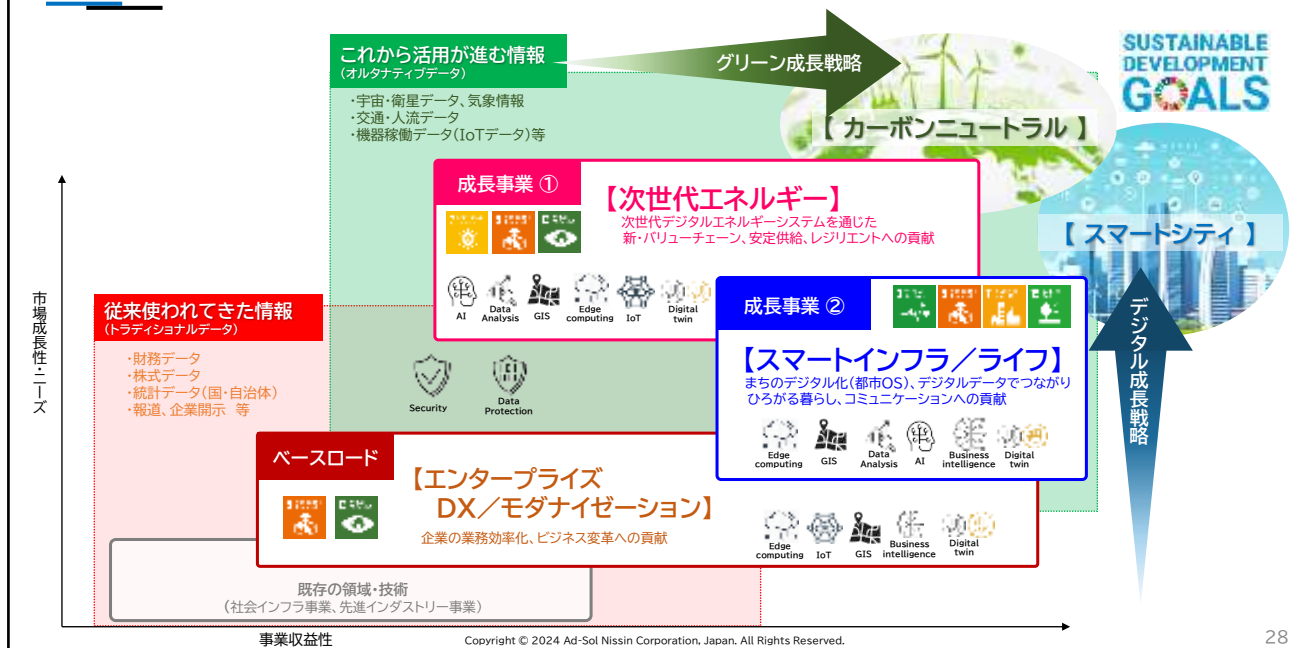


こちらのスライドにポイントをまとめておりますが、

業績目標と株主還元については、先ほどご説明のとおり、  
期初計画を上回る成果を出すことができました。

事業戦略、企業戦略の進捗については、  
次からのスライドでご説明します。

【再掲】中期事業戦略 フレームワーク(ビジネス領域の進化・拡大、DXソリューションの拡充・強化)



はじめに事業戦略です。  
 こちらは、当社の2030年以降の持続的成長を見据えた、  
 中長期的な戦略ポートフォリオです。

既存のビジネスから進化・発展させた  
 「エンタープライズDX/モダナイゼーション」を  
 ベースロードに、  
 「次世代エネルギー」「スマートインフラ/ライフ」の  
 2つの事業が、今後の成長をけん引することをお示しています。

この2つの成長事業は、  
 これからの社会の変革に関わる  
 重要なテーマであることから、  
 たとえば、アライアンスなら、  
 どの企業とどのようなテーマで行うべきか、  
 差別化のために、どのソリューションや技術を  
 強化すべきか、など、  
 検討を重ねてまいりました。

本日は、この2つ成長事業で当社が目指す  
 方向性をご説明します。

## 新たな柱となるビジネスへの挑戦

NEW

需要家向け 新ビジネスへの挑戦・新プレイヤーとの共創

マイクログリッド/エネルギーマネジメント



スマートシティ



ショッピングモール



データセンター



工場

POINT

アライアンス/コンサルティング

分析・マネジメント

大手エネルギー会社向け 既存エネルギーインフラ次世代化

POINT

広域系統 次世代化対応  
(設備、地域間電力融通、再エネマネジメント等)

発電

エネルギーバリューチェーン

送配電

小売

POINT

データ活用・新サービス  
(スマートメーター等)

使用・利用

まず、「次世代エネルギー」です。  
エネルギー市場は、今後、  
さらに大きく成長すると考えています。

私たちは、この中でもスマートシティの実現に向けて、  
成長が期待される新たな領域、  
「マイクログリッド」や、「VPP」、  
「エネルギーマネジメント」といった  
新たな電力網の実現に、本格的に挑戦します。

これは、大手エネルギー会社向けとは異なる、  
「需要家向け」の新市場です。

「分析・マネジメント」という対応も、必要になります。  
新プレイヤーも登場すると考えています。  
新たな共創による、ビジネス拡大を目指します。

大手エネルギー会社向けには、  
スライド下段に示しております、  
送配電の「設備管理」など、DX対応のシステム更新や  
スマートメーターのデータを利活用した  
サービスの創出などで、  
これまで以上に対応を強化していきます。

## スマートシティのインフラを担う3テーマに集中

「スマートシティ」全体のテーマ(当社作成)と当社が注力するテーマ

テクノロジー



教育



都市計画・施設

テーマ

01

スマートレジリエンス



健康・医療・介護



防災・レジリエンス

テーマ

02

スマートモビリティ



物流



交通・モビリティ



地域活性化・観光



行政



金融



防犯・セキュリティ



通信



環境・エネルギー

テーマ

03

スマートエネルギー

次世代エネルギー

GIS:地理情報  
システム宇宙・衛星  
データ

AI



IoT

Smart  
City

Copyright © 2024 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

30

次に「スマートインフラ/ライフ」です。

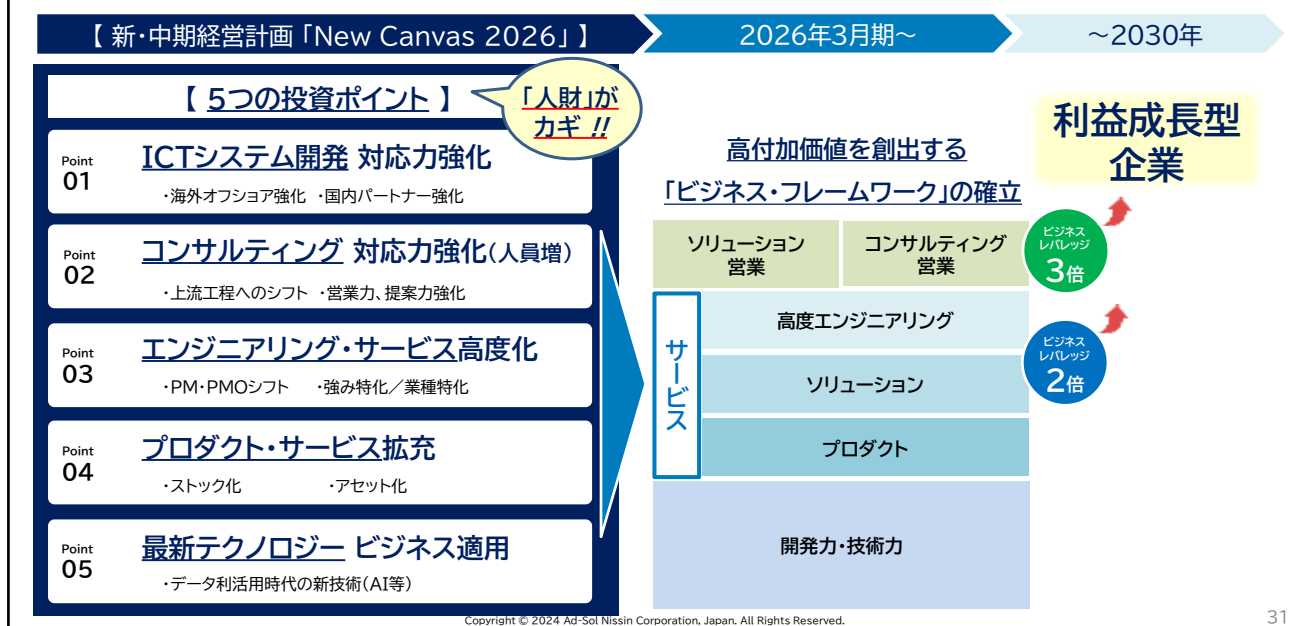
多岐にわたるこの領域で、  
当社ならではの強みを発揮するため、

- ・「都市計画」や「防災」の「スマート レジリエンス」
- ・「交通」「物流」の「スマート モビリティ」
- ・「環境・エネルギー」の「スマート エネルギー」の、

「街や生活のデジタル化」や、「スマート化」につながる  
3つのビジネス領域に、集中展開することとしました。

ここに、  
1976年の創業以来、社会インフラ領域で培ってきた  
システム開発力と、  
AIや宇宙・衛星データ等の最新テクノロジーを  
融合することで、  
スマートシティの実現に貢献してまいります。

【再掲】ビジネス構造改革：「利益成長型企业」を見据えた投資強化



なお、この中期経営計画では、「利益成長型企业」に向けた戦略投資も進めています。ポイントはご覧のとおりです。

特に、人材面における投資は、当社の成長、高付加価値の創出に不可欠です。引き続き、重点的に推進してまいります。



## 06 中期経営計画の進捗

- アライアンス戦略
- アジア・オフショア戦略
- ソリューション / 技術力強化
- 企業価値向上・持続的成長に向けて

つづけて、中期経営計画の進捗に関連する  
2024年3月期のトピックスをご説明します。



アライアンス戦略: 仏・シュナイダーエレクトリック社との共創①

世界各国で評価されるシュナイダー社のソリューション × アドソル日進の技術力のシナジー



- エネルギー&オートメーション グローバルメジャー  
- 「世界で最も持続可能な企業 第1位」  
(2021年コーポレートライツ Global 100 Index)

共創ビジネスの推進

2024年3月期 実績

今後の展望

インダストリー-DX

大手製造業向け  
DX・IoTソリューション共同提案



- ・ 共同受注 **10件超**  
(製造業 / 住宅メーカー向け)
- ・ シュナイダー社のIoTソリューション「EcoStruxure」対応領域拡大

- ・ 「EcoStruxure」を活用したIoT統合プラットフォームの共創提案を加速
- ・ IoT統合プラットフォームとアドソル日進オリジナルソリューションとの連携 (GIS:地理情報システム、IoT空間情報)

マイクログリッド / VPP / エネルギーマネジメント

エネルギー企業向けグローバル事例によるコンサルティング  
ビル・データセンターのCO2削減・省エネ対応



- ・ **エネルギーモニタリングシステム受注**  
2025年3月期に本番稼働予定 (計測機器メーカー等)
- ・ 省エネ対応ビジネス 推進 (大規模データセンター等)
- ・ VPP・マイクログリッドの共同イベントを開催

成長事業「次世代エネルギー」につながる  
エネルギーモニタリング / 制御システム 拡大  
(データセンター / 自治体 / エネルギー会社等)

まず、事業成長を加速させる「アライアンス戦略」です。

当社は2021年、世界100か国以上でビジネス展開するフランスのシュナイダーエレクトリック社と日本企業として初めて「SIパートナー」契約を締結し、以来、「インダストリーDX」、「VPP」「マイクログリッド」「エネルギーマネジメント」をテーマに協業を進めています。

このパートナーシップの成果として2024年3月期は、幅広い業種・業界で受注をいただくことができました。

今後の展望につきましては、次のスライドでご説明します。

=====

VPP (Virtual Power Plant バーチャル・パワー・プラント) :  
複数の分散型エネルギーリソースをあたかもひとつの発電所のように統合・制御する仕組み

マイクログリッド (Micro Grid 小規模電力網) :  
エネルギー供給源と消費する施設を一定の範囲(地域内、施設内等)でまとめ、安定的にエネルギーを供給し、地産地消する仕組み

「マイクログリッド」「エネルギー管理」 共同展開を拡大

注力領域/セグメント

電力集約型拠点



データセンター

研究施設  
(スパコン)

災害レジリエンス重要拠点



病院

自治体

アドソル日進デジタル・イノベーション・ラボでの常設展示

共同展開するマイクログリッド及び  
エネルギー管理ソリューションの  
デモ機をアドソル日進に常設



共同展開に関する各種報道

- ガスエネルギー新聞 (2024年3月11日)



<https://adniss.jp/news/2024/03/newspaper20240311-gas-energy.html>

※ 当社ウェブサイトからご覧ください

- 電気新聞 (2024年3月12日)

- 新エネルギー新聞 (2024年4月9日)

<https://adniss.jp/news/2024/05/newenergy-news.html>

※ 当社ウェブサイトからご覧ください

今後の協業ポイントのひとつは、  
当社の成長事業「次世代エネルギー」にもつながる  
マイクログリッドや、エネルギー管理です。

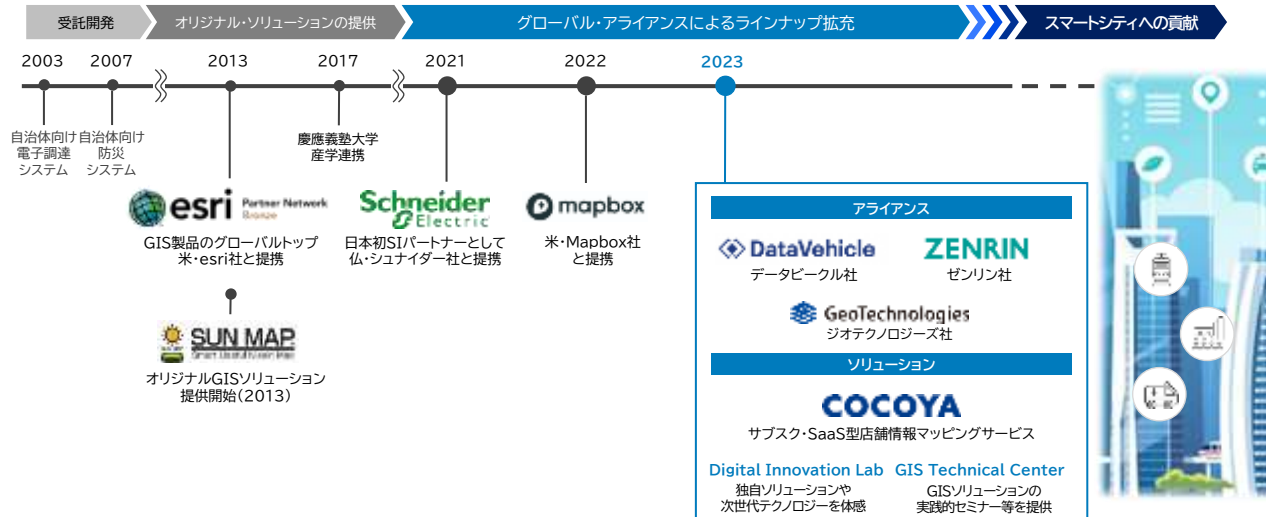
実は、シュナイダー社は、全世界で500件以上、  
マイクログリッドの導入実績があります。  
このグローバルでの実績と知見に、  
当社の技術力を融合することで、  
日本に適した形での導入提案ができると考えています。

太陽光発電の設置が必要な「自治体」や、  
AI・半導体需要などを背景に、  
建設ラッシュが続く「データセンター」、  
災害時の避難拠点となる「病院」などを中心に、  
今後、両社で案件発掘と、  
受注拡大に取り組んでいきます。

複数の報道がされるなど、注目されているテーマです。  
私自身も、しっかり舵取りをしてまいります。

アライアンス戦略: リーディングカンパニーとの共創をさらに加速

スマートシティへの貢献に向け、「GIS:地理情報システム」ソリューションを強化



Copyright © 2024 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

次に、ソリューションビジネスの中核である「GIS:地理情報システム」におけるアライアンスや、ビジネスの進捗です。

GISで20年以上の実績を有する当社は、国内外のリーディングカンパニーとのアライアンスを通じて、GISソリューションの強化を図っています。

2024年3月期は、新たに、データビークル社、ゼンリン社、ジオテクノロジーズ社と提携しました。

加えて、当社初のサブスクサービスとして「COCOYA」をリリースし、東京本社の「デジタル・イノベーション・ラボ」をリニューアルしました。

引き続き、ソリューション提案力の強化に努めてまいります。

IT人材大国 ベトナムでの取り組み



オフショア開発

ベトナム・ダナン開発センター

産学連携

アジャイル開発

1,000名体制へ!!

メタバース×教育システム

次に、ベトナムでの取組みをご説明します。

当社は、10年以上にわたり、ベトナム人留学生の積極採用と、ベトナムでの開発をマネジメントする「ブリッジSE」の育成、帰国後の起業支援・提携など、オフショア開発の強化に向けた複合的な施策を推進してまいりました。

中期経営計画では、「アジア・オフショア戦略」で、ベトナム・ダナン開発センターにおける「高度IT人材:1,000名体制」を目指した取組みをさらに強化しています。

「オフショア開発体制の強化」「高度IT人材育成」に向け、**資本・業務提携** / **産学連携**

**Techzen社 資本・業務提携**

当社OBが設立したスタートアップ企業  
アジャイル開発に強み

- 高度IT人材育成
- ダナン開発拠点の体制強化



▲ 事業規模は急拡大中

**Techzen(テックゼン)会社概要**

設立：2022年1月  
代表取締役社長 LE DUY LINH  
(し・ユイ・リン)  
従業員数：55名（2024年4月現在）

**ダナン大学 産学連携協定**

高度IT人材の育成に向けて、ダナン大学内に「ITトレーニングセンター」を共同設立

- 日本でのICTシステム開発環境を再現したプロジェクトルームを完備
- アジャイル型開発をはじめ、最新の開発スキームをリアルに体験可能
- デジタル化された学習環境を整備し、当社社員が講師を務めるオンライン講座も開講



▲ 「ITトレーニングセンター」オープニングセレモニーを実施

**ダナン大学(University of Da Nang)概要**

・1994年、ダナン工科大学、ダナン教育学部養成大学、クアンナム-ダナン教育大学、グエン・ヴァントロイ職業技術大学の合併により設立。  
・6加盟大学から構成、学生約50,000人、教職員約2,500人を誇るベトナム中部地区最大規模の国立総合大学。

**リアルな就業体験！ITトレーニングセンターの設備**



▲ Techzen社 プロジェクトルーム



▲ 共同研究ルーム



▲ トレーニングルーム



▲ テストルーム

その成果のひとつとして、  
現地の「テックゼン」社と、資本・業務提携を行いました。

テックゼン社は、ベトナム人の当社OBが設立した  
アジャイル開発を得意とするIT企業です。  
ダナン開発センター1,000名体制の中心を担う企業と  
位置付けています。

2つめの成果は、国立のダナン大学との産学連携協定です。  
ダナン大学とは、この春から、  
日本と同等のプロジェクトルームを完備した  
「ITトレーニングセンター」の共同運営を開始しました。  
今後、アジャイル開発の体験講座や、  
インターンシップなどをテックゼンと連携して  
提供していく予定です。

## 参画企業との共創で、宇宙・衛星データ利活用ビジネス拡大を加速

- 宇宙領域における取組み -

## ● 事業活動

- 人工衛星の通信・セキュリティシステムをはじめ宇宙領域で活用されるICTシステムの開発・提供
- 「GIS:地理情報システム」や「IoT 空間情報」など宇宙・衛星データ利活用 ビジネスの推進



## ● 東京大学大学院工学系研究科 共同研究

- “宇宙×IT×問題解決”をテーマに、宇宙・衛星データ利活用 による社会問題解決の共同研究 (AIをはじめとしたIT活用など)
- 宇宙IT人材の育成 に向け、同大学で2022年に新規開講した講座「実践宇宙データ活用」において、AI・IoT分野で全面協力

宇宙ビジネス共創プラットフォーム **クロスユー** に参画国内外の幅広い宇宙プレイヤーが集まり  
交流する「場所」と「機会」を提供するオープンプラットフォーム

場の提供

機会の創出

参画企業との共創活動を通じて  
宇宙・衛星データの利活用ビジネス拡大を加速  
+ 新たなビジネスの創造を推進

## 一般社団法人 クロスユー 概要

設 立 : 2022年9月  
代表理事 : 東京大学大学院工学系研究科教授 中須賀真一  
所 在 地 : 東京都中央区日本橋室町3-3-9 日本橋アイティビル

次に、安全保障、レジリエンスなど、  
様々な領域で注目されている  
「宇宙」「衛星データの利活用」に関するトピックスです。

当社は、宇宙領域におけるICTシステムの  
開発・提供に加え、  
「GIS」「IoT」を活用した  
衛星データ利活用ビジネスを進めています。

東京大学大学院とは、衛星データの利活用や、  
宇宙IT人材の育成をテーマに共同研究を行っています。

こうした取組みをさらに強化するため、このたび  
「宇宙ビジネス共創プラットフォーム クロスユー」に  
参画しました。

<https://www.crossu.org/>

加盟企業や研究機関との共創活動により、  
宇宙関連ビジネスのさらなる加速を図ってまいります。

## ソリューション/技術力強化: AI (人工知能) の取り組み

## AI研究所を中心に、AI技術力の強化・ビジネス展開を推進

## ● AIを活用したICTシステムの提供

製造領域(自動運転、現場管理等)や、メディカル・ヘルスケア分野(医療IoTシステム等)を中心に、「AI」を活用したICTシステムを提供しています。



## ● 産総研 AI品質向上プロジェクトへの参画

AI品質マネジメントプロジェクトに参画し、「機械学習品質マネジメントガイドライン(AIの品質ガイドライン)」の策定や、「AIシステムの品質評価を行うプラットフォーム」の開発に貢献しました。



## ● 東京大学大学院工学系研究科 共同研究の実施

宇宙IT人材育成や宇宙イノベーションを目的に2022年から共同研究を実施。「宇宙・衛星データ利活用」「宇宙・衛星データ利活用」による社会問題解決の研究(AIをはじめとするIT活用など)に取り組んでいます。

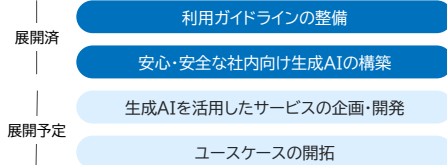


## ● 生成AIに関する取り組み

## ■ 全社横断 生成AIプロジェクト を推進

2023年12月には社内向け生成AIサービス  
AdsolChat<sup>アドソルチャット</sup>の全社運用を開始

< 生成AIプロジェクト 主な取り組み >



生成AIの活用により、業務のデジタル化・DXを加速化  
顧客企業のビジネス改革へのさらなる貢献をめざし  
サービス展開に向けた取り組みを推進

次に、「AI」に関する取り組みです。  
当社は、自動運転や、医療IoTシステムを中心に、  
AIを活用したICTシステムを提供しています。

研究開発活動でも、  
産総研のAI品質向上プロジェクトや  
東大との共同研究へのAIの適用などを行っています。

近年話題の「生成AI」関連では、  
全社横断プロジェクトで  
新サービスの企画・開発などに取り組み、  
昨年末には、情報漏えいリスクがない、  
社内向けの生成AIサービスとして  
「AdsolChat(アドソルチャット)」をリリースしました。

このノウハウを活かした事業化・サービス展開についても進めていく方針です。

拡大が見込まれるICT投資需要に応えるため、国内**オフィス**を**新設・増床**



Copyright © 2024 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

40

次に、企業の成長を支える「オフィス戦略」についてご説明します。

2024年3月期は、名古屋オフィスの新設、東京本社オフィスの増床など、オフィス強化を進めてきました。

さらに、今年の10月には、福岡・博多に構える「九州支社」の移転・リニューアルを決定しました。

九州支社は、大手エネルギー会社やメーカーなどに対してビジネスを展開しており、非常に勢いのある拠点のひとつです。

また、九州には、半導体など様々な企業の進出が予定されており、投資の増加も見込まれます。さらなるビジネス拡大と、新たなビジネスの獲得を目指してまいります。



## 新卒採用による人員増強 / コンサルティング人材育成の取組み

## ● 2024年4月 新卒採用

新入社員 **38**名が入社

▲ 2024年4月1日 入社式

【国立】 北海道、弘前、岩手、福島、東京、東京工業、電気通信、新潟、岐阜、大阪、九州工業、九州、熊本、鹿児島、琉球  
 【公立】 岩手県立、大阪公立  
 【私立】 慶應義塾、芝浦工業、上智、東海、東京理科、明治、早稲田、関西



2025年4月 新卒採用予定

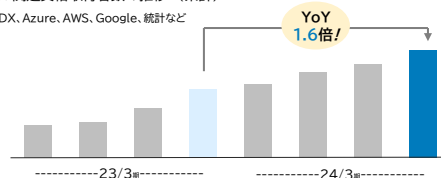
**50**名以上

## ● コンサルティング人材の育成

人事部門と人材開発センター(事業部)が共同で  
 社会インフラ企業のDX・デジタル化に 대응する  
**コンサルティング人材育成**を加速

&lt;デジタル関連資格取得者数の推移 (累計)&gt;

テーマ:DX, Azure, AWS, Google, 統計など



## ● 処遇改定

社員エンゲージメント向上のため  
**全社員を対象とした処遇改定**を実施

内容

- 全社員対象 : 平均6%
- 初任給 : 引き上げ (265,000円)

次に、成長の源泉である「人材」に関する取組みをご紹介します。

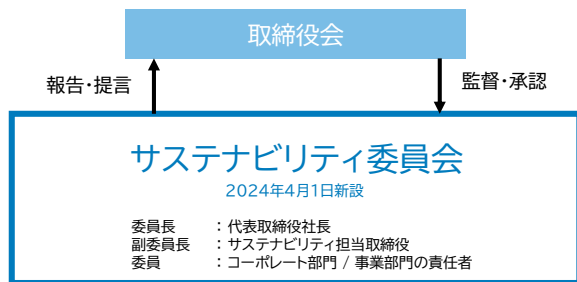
まず、今年4月には、前年から4名増の、38名の新入社員が入社しました。来年春の新卒については「50名以上」を目標に採用活動を進めています。

次に、人材育成については、ビジネスモデル改革に向け、社会インフラに特化したコンサルティング人材の育成を進めています。

また、社員のエンゲージメント向上のため、昨年に続き、今年も全社員を対象とした処遇改定と初任給の引き上げを行いました。

サステナビリティ委員会を新設、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを一層強化

● サステナビリティ推進体制の強化



役割

アドソル日進グループ全体のサステナビリティ活動の推進

- 全体計画の企画・立案
- 進捗状況のモニタリング
- 達成状況の評価
- 取締役会に対する定期的な報告・提言

● 株式インデックスへの組み入れ

- 日経連続増配株指数
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数



● 外部認定の取得・イニシアチブへの参加

- TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)



- 経済産業省「DX認定」



サステナビリティに関する取り組みです。

この4月に、私を委員長とする  
「サステナビリティ委員会」を設置しました。

ステークホルダーの皆様の信頼を  
これまで以上に得られるよう、  
今後もサステナビリティの取り組みを継続してまいります。



## 07 資本コストと株価を意識した経営の実現に向けた対応

- 現状分析・評価
- 今後の方向性

43

最後に、持続的成長と中長期的な企業価値向上に向けた「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について、ご説明します。

本日は、「現状の分析および評価」、  
そして「改善に向けた今後の取り組みの方向性」について、  
ご説明いたします。

現状分析・評価

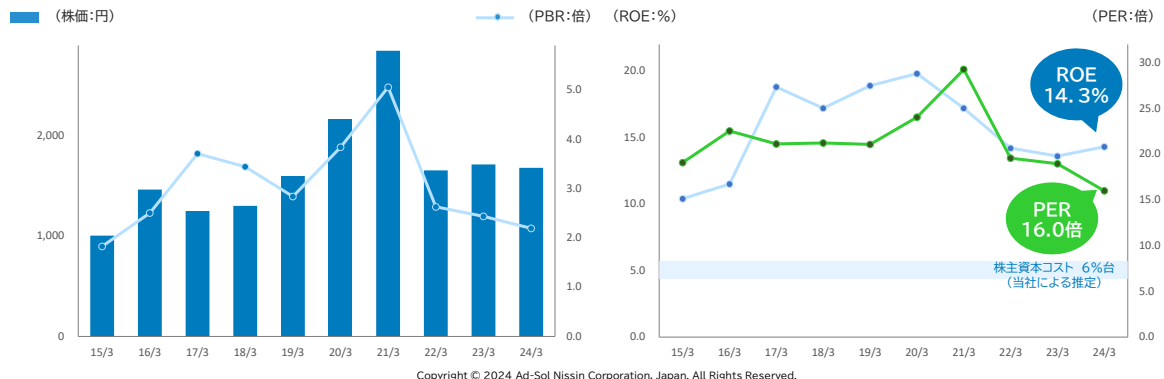
ポイント：利益率の向上、資本効率の改善

株価とPBRの推移 (期末時点)

- ・現在のPBRは2倍を超える水準  
→株価の向上によるさらなる良化余地
- ・株価向上のポイント：「業績成長」「高ROEの維持・向上」

ROEとPERの推移 (期末時点)

- ・2024年3月期 ROE14.3% 低下傾向に歯止め
- ・株主資本コストを上回るROEの維持・向上のポイント：  
「利益率の向上」「資本効率の改善」



はじめに「現状の分析および評価」についてです。

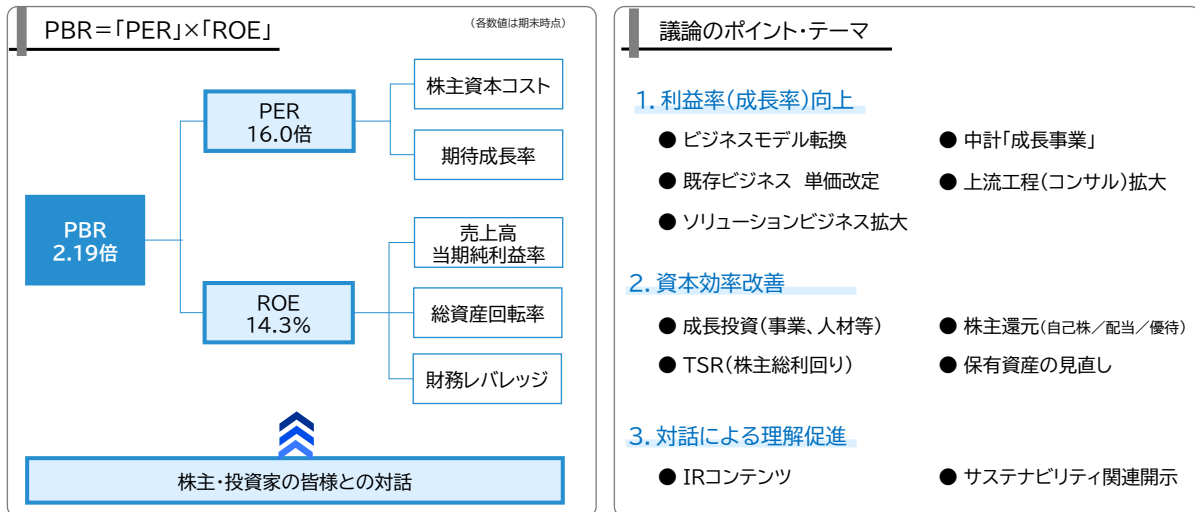
左のグラフのとおり、  
当社の「PBR」は、2倍を超える水準で推移しています。

また、右のグラフのとおり、  
「ROE」も、2024年3月期は14.3%と、  
「株主資本コスト」を大きく上回って推移しています。

当社の中長期的な安定性や成長性に対し、  
今後も株式市場から評価をいただくためには、  
「ROE」が「株主資本コスト」を継続的に上回ることが  
重要だと認識しています。

今後の方向性

2025年3月期中の方針策定・開示を予定



また、PBRを「PER」と「ROE」に分解しますと、

PBRのベースになる

「将来の成長期待」と「資本効率」の向上に加え、  
 当社の取り組みを十分にご理解いただけるよう、  
 株主・投資家の皆様との対話を  
 これまで以上に積極的に実施していくことが必要だと  
 考えています。

現在当社は、右の枠に記載した  
 様々なテーマに対する取り組みを推進しておりますが、  
 今後は、2025年3月期中を目途に、  
 当社としての注力ポイントと優先順位を  
 改めて明確にお示ししたいと考えております。



## アドソル日進 会社概要

46

ここからは、決算説明会の参考資料となります。

まず、アドソル日進の会社概要です。

## 会社概要

## Company Profile-会社概要-

社名	アドソル日進株式会社 Ad-Sol Nissin Corporation
本社	東京都港区港南4丁目1番8号 リバージユ品川
拠点	大阪、福岡、名古屋、仙台、米国サンノゼ
設立	1976年3月13日
代表者	代表取締役会長 兼 CEO 上田 富三 代表取締役社長 兼 COO 篠崎 俊明
従業員数	連結 645名(2024年4月1日現在)
売上高	140.7億円(2024年3月期)
上場市場	東証プライム 3837
発行済株式数	9,394,965株(2024年3月31日現在)
子会社	・アドソル・アジア(株) (オフショア開発拠点:ベトナム) ・Adsol-Nissin San Jose R&D Center, Inc. (サンノゼR&Dセンター)

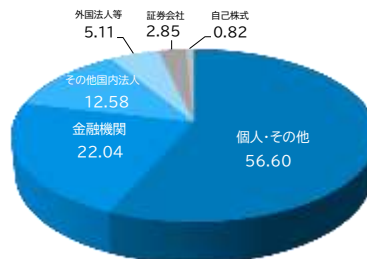
## Our Mission -私たちの使命-

## Corporate Philosophy -企業理念-

私たち アドソル日進は  
高付加価値サービスの創造・提供を通じて  
お客様の満足と豊かな社会の発展に貢献します

## 株式保有割合 (%)

(2024年3月31日現在)



当社は1976年に創業した独立系のICT企業です。(創業48年)

事業は、いわゆる「IT」です。

事業領域は、エネルギー(電力・ガス)、交通・運輸など

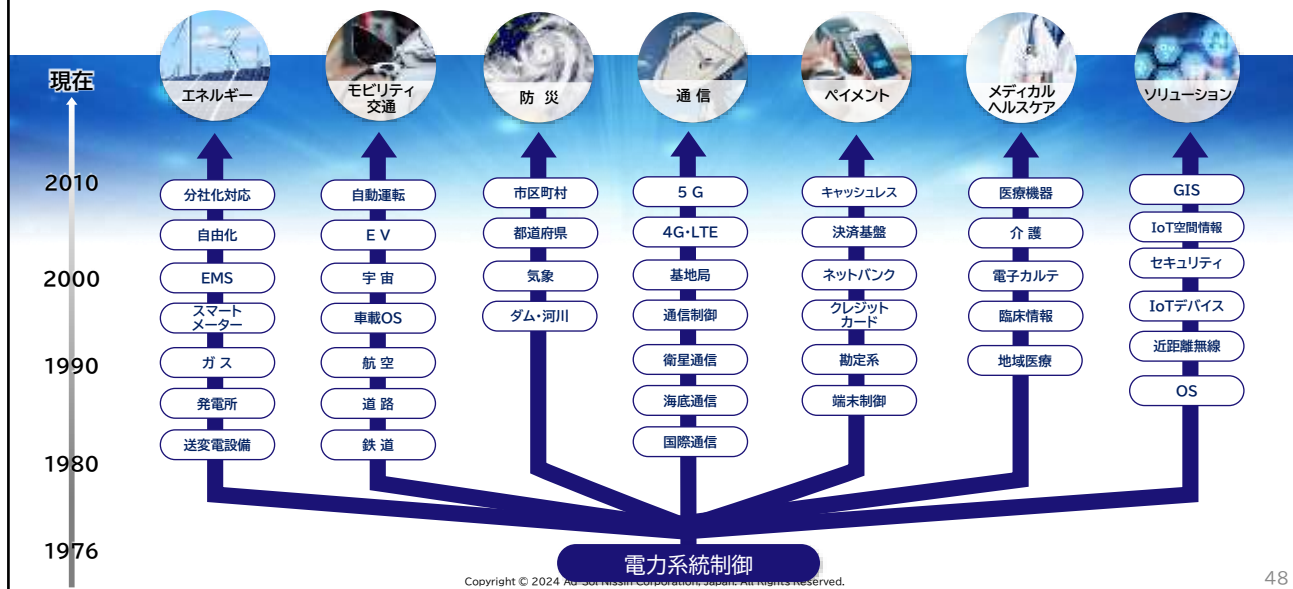
日々の生活に欠かせない「社会インフラ」と、

人々の暮らしをより豊かに、スマートにする「日本のモノづくり」です。

さらに、差別化の源泉である「GIS:地理情報システム」、「IoT:空間情報」などのソリューションを提供しています。

2007年ジャスダックに上場し、以後、東証2部、1部に市場を変更し  
現在は東証プライムに上場しています。

事業領域の拡大と進化



アドソル日進は、電力の系統制御システム開発より事業をスタートしました。

最先端テクノロジーを活用する高度な技術力と高品質なシステム開発力を強みに、数多くの大規模プロジェクトでお客様からの信頼をいただき、事業領域を拡大しています。

当社規模で、ご覧のように多岐にわたるビジネスを展開する会社は他にないと考えています。



米国～アジア～日本をつなぎ、グローバル・ネットワークで最先端DXソリューションを提供します。









続いて、拠点をご紹介します。

当社は、東京・大阪・福岡・名古屋・仙台の国内5拠点体制で事業を展開しています。

また、米国・シリコンバレーでの研究開発や、ベトナムにおけるオフショア開発体制を構築しています。

今後も、最先端テクノロジーの研究や、ソリューション開発、開発体制の強化などをグローバルで推進し、多様化するお客様のニーズにお応えしてまいります。

ソリューション一覧

<p><b>GIS:地理情報システム</b></p>	<p>「地図」と「データ」を組み合わせて、情報資産を見える化、DXを加速。 グローバル・アライアンスによる幅広いサービスラインナップでビジネス拡大と変革に貢献</p>
	<p>店舗情報マッピングサービス</p>
	<p>政府・官公庁、大学、研究機関などでも利用される高度な分析やシミュレーション</p>
	<p>ビジュアライゼーションに優れたデジタル地図の開発プラットフォーム</p>
<p><b>IoT空間情報</b></p>	<p>「人」「モノ」の位置・状態をリアルタイムで管理。 現場を見える化することで、生産性向上や、業務改革に貢献する「位置情報ソリューション」を提供</p>
	<p>デジタルデータ利活用で工場・倉庫などの現場管理</p>
	<p>屋内・屋外の位置情報をシームレスに見える化</p>
<p><b>セキュリティ</b></p>	<p>米国Lynx Software Technologies社の日本総合代理店として、 米国最先端のIoTソリューション「LynxSECURE」を提供</p>
	<p>IoT機器をサイバー攻撃から守る米国最先端のIoTソリューションを提供</p>

アドソル日進のオリジナル・ソリューションを紹介します。

地図アプリなどで活用が進む「GIS:地理情報システム」、無線・センシングの豊富な技術やノウハウを生かした「IoT:空間情報」、そしてそれらを支える「セキュリティ」まで、ワンストップでサポートし、DX・デジタル化による生産性・収益性向上を実現します。

研究開発

Point  
**01** サンノゼR&Dセンター



**米国・シリコンバレーで最先端R&D**  
当社社員と米国エンジニアが連携し、最新テクノロジーの調査・研究を推進

**IoTセキュリティのグローバルHQ**

米国Lynx社と連携(30年以上)し、最先端IoTセキュリティソリューションの研究開発と、技術力強化に注力。  
日本国内のメーカーやインフラ企業への展開を全面的にバックアップ

Point  
**02** AI研究所



**DXをAI技術から牽引するAI研究所**  
「先進AIテクノロジーの研究」「AIシステム構築の研究」「AI人材育成」などに注力

**最先端のAI研究活動**

国立研究開発法人:産業技術総合研究所のAI品質向上プロジェクト。  
東京大学と宇宙IT人材育成や宇宙イノベーションを目的に「宇宙・衛星データ利活用」関連の共同研究と新講座の両面で、全面的にサポート

Point  
**03** 産学連携



**イノベーションと新テクノロジーの創出**  
産学連携・共同研究や学会活動等を通じて豊かな社会の発展に貢献

- 東京大学 :宇宙・衛星データ利活用
- 早稲田大学 :EMS (エネルギーマネジメントシステム)
- 慶応義塾大学 :GIS (地理情報システム)
- 立命館大学 :IoT、サイバーセキュリティ
- ダナン大学 :スマート大学の美現

Point  
**04** 特許



**独自技術の特許化を推進**  
「IoT空間情報」「地図情報」「セキュリティ」競争優位性の強化・拡充に向け、取得した新技術や蓄積したノウハウなど、独自技術の知的財産化を推進

研究開発に関する取り組みです。

当社は長年、研究開発に予算を割き、革新的なキーテクノロジーの創造、強化・拡充に取り組んでいます。

まず、米国・サンノゼのシリコンバレーに設立した研究開発の子会社「サンノゼR&Dセンター」では、セキュリティをはじめ、最新テクノロジーの研究開発を行っています。

2つめは、「AI研究所」です。  
お客様のDXやビジネス変革に貢献する「先進AIテクノロジーの研究」「AIシステム構築の研究」「AI人材育成」などを推進しています。  
近年注目が高まる生成AI関連では独自サービスを開発し利用を開始するなど、活動範囲を拡大しています。

3つめは、「産学連携」です。  
東京大学大学院工学系研究科との宇宙IT人材育成や宇宙イノベーションを目的とした「宇宙・衛星データ利活用」の共同研究をはじめ、5つの大学と産学連携協定を締結し、最先端技術の研究を進めています。

4つめは「特許」です。  
2024年5月現在、23件の特許を取得しています。  
引き続き、独自技術の特許化によるオリジナルソリューションや技術力の強化を図ってまいります。

## 特許一覧 (23件取得)

名称	関連領域	登録日	特許番号
24/3期			
位置特定装置、移動器、位置特定システム、位置特定方法、およびプログラム	IoT空間情報	2023.10.19	特許第7370148号
位置特定装置、位置特定システム、位置特定方法、およびプログラム	IoT空間情報	2023.10.19	特許第7370149号
作業監視装置、作業監視システム、作業監視方法、およびプログラム	IoT空間情報	2023.8.7	特許第7327962号
浸水シミュレーション装置、浸水シミュレーション方法およびプログラム	GIS:地理情報システム	2023.2.1	特許第7220276号
端末装置、方法およびプログラム	セキュリティ	2022.9.22	特許第7146124号
無線装置、アンテナ選定方法及びプログラム	通信・ネットワーク	2022.3.10	特許第7038878号
コンピュータ装置(社内システムとレガシーシステムのデータ共有とデータ保護技術)	セキュリティ	2021.9.27	特許第6949672号
データ通信用電極、データ通信装置及びデータ通信システム	IoT空間情報	2021.7.15	特許第6914134号
中継装置、位置検知システム及び中継方法	IoT空間情報	2021.5.27	特許第6890394号
コンピュータ装置(デジタル・データの保護技術)	セキュリティ	2021.2.22	特許第6841703号
ID識別システム	IoT空間情報	2017.8.25	特許第6196788号
誤り判定システムおよび誤り判定方法	IoT空間情報	2016.5.20	特許第5936940号
アクシデント判定システム	IoT空間情報	2016.4.1	特許第5907392号
電界通信用データ送受信装置および電界通信用データ送受信システム	IoT空間情報	2014.7.11	特許第5575544号
生体通信用認証装置、生体通信用認証システム及び生体通信用認証方法	IoT空間情報	2014.2.14	特許第5476095号
入退室管理システム	IoT空間情報	2013.11.22	特許第5415832号
個体認証用ドノブシステム	IoT空間情報	2013.7.12	特許第5313107号
生体間通信取手装置、生体間通信取手装置付扉及び収納装置	IoT空間情報	2013.3.15	特許第5222757号
自動販売機扉等の開閉検知・記録装置	IoT空間情報	2012.6.15	特許第5016011号
マルチホップ無線ネットワーク	通信・ネットワーク	2012.6.1	特許第5006815号
人体通信端末装置	IoT空間情報	2012.3.23	特許第4954846号
人体通信端末装置及び人体通信端末装置の認証処理方法	IoT空間情報	2011.10.21	特許第4846690号
データ送受信機及びデータ送受信システム	IoT空間情報	2007.3.9	特許第3926357号

Copyright © 2024 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

52

アドソル日進が保有する特許の一覧です。  
2024年5月現在、23件の特許を取得しています。

プレスリリース／お知らせ (2023年4月～2024年5月)

2024.5.8	富士フィルムシステムサービス様の「罹災証明迅速化ソリューション」を構成する「被害調査統合システム」一部機能及び「罹災証明書出力機能」の開発にアドソル日進が参画
2024.4.30	事業拡大に伴う「九州支社移転・リニューアル」に関するお知らせ
2024.4.17	取締役候補者の決定に関するお知らせ
2024.4.17	従業員(役職者)に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分に関するお知らせ
2024.4.12	宇宙・衛星データ利活用の加速に向けて～宇宙ビジネス共創プラットフォーム「クロスユア」に参画～
2024.4.5	高度IT人材の育成に向けて～「ベトナム・ダナン大学」と「ITトレーニングセンター」を共同設立～
2024.4.1	サステナビリティ委員会設置に関するお知らせ
2024.3.22	事業拡大に伴う「本社オフィス(プロジェクトルーム)増床」に関するお知らせ
2024.3.19	「組織変更」および「人事異動」に関するお知らせ(2024年4月1日付)
2024.2.7	通期業績予想、及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ
2024.2.1	生成AI「AdsolChat」社内運用開始のお知らせ
2023.12.20	「執行役員選任」「組織変更」及び「人事異動」に関するお知らせ(2024年1月1日付)
2023.12.12	アドソル日進がジオテクノロジーズ株式会社とパートナー契約を締結
2023.11.30	DX・GXに貢献！位置検知ソリューション「uS1GMA(ユージングマ)」リニューアル
2023.11.21	【23件目】特許取得のお知らせ(位置検知ソリューション関連:屋内・屋外検知の自動切替)
2023.11.21	【22件目】特許取得のお知らせ(位置検知ソリューション関連:屋内における位置検知方法の自動切替)
2023.11.07	2024年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ
2023.10.25	【21件目】特許取得のお知らせ(位置検知ソリューション関連)
2023.10.11	ベトナムでのICT人材育成に向けて～ベトナム・ダナン大学との「産学連携協定」締結～
2023.9.20	「組織変更」及び「人事異動」に関するお知らせ(2023年10月1日付)
2023.9.7	ベトナムでのICT人材育成に向けて～当社OB設立のスタートアップ企業と「ICT人材の育成」を中核に資本・業務提携～
2023.8.3	株式報酬型ストックオプション(新株予約権)の発行内容の確定に関するお知らせ
2023.7.19	株式報酬型ストックオプション(新株予約権)の発行に関するお知らせ
2023.7.12	「日経連続増配株指数」の構成銘柄に選定
2023.7.3	従業員(役職者)に対する譲渡制限付株式報酬としての新株式発行の払込完了に関するお知らせ
2023.6.20	ジュナイダー・サステナビリティ・インパクトアワードで「Global winner」に選出
2023.5.25	「新・中期経営計画(2024/3～2026/3)」策定に関するお知らせ
2023.5.8	アドソル日進が株式会社センリンと地図データ販売でパートナー契約を締結
2023.4.28	SaaS型店舗情報マッピングサービス「COCOYA(ココヤ)」発売開始
2023.4.26	データビークルとアドソル日進、ソリューションパートナー契約締結のお知らせ
2023.4.24	「アドソル日進 名古屋オフィス」グランドオープンのお知らせ
2023.4.19	取締役候補者の決定に関するお知らせ
2023.4.19	従業員(役職者)に対する譲渡制限付株式報酬としての新株式発行に関するお知らせ

2024年3月期に実施したプレスリリースの一覧です。

個人投資家の皆さまとの対話の機会の拡充に向けた取り組み

● YouTubeチャンネルへの出演

株式投資専門YouTubeチャンネル

「1UP投資部屋 IRシリーズ」  
社長 篠崎が出演



視聴URL

<https://www.youtube.com/watch?v=wSnQn18I.0o>

● 個人投資家様向けIRセミナーへの参加

2024年3月17日(日)

湘南投資勉強会 主催 4社合同IR説明会  
社長 篠崎が登壇



アーカイブ動画URL

<https://www.youtube.com/watch?v=BmAd2Dd7wsA>

今後の予定

2024年5月25日(土)

Kabu Berry主催 IRセミナー (会場開催@名古屋×オンライン)  
社長 篠崎が登壇予定

詳細はこちらからご覧ください:<https://kabuberry.com/lab197/>

個人投資家の皆さまとの対話の機会拡充に向けた取り組みとして、投資系YouTubeチャンネルやIRセミナーに参加しました。

5月25日には、名古屋で開催されるIRセミナーに代表取締役社長の篠崎が登壇予定です。オンラインでも配信されますので、ぜひご覧ください。



URL <https://youtu.be/-jhk3ilKcC4>

アドソル日進 YouTubeチャンネルにリンクします

Copyright © 2024 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

ベトナム・ダナン開発センターの紹介動画を作成いたしましたので、ぜひご覧ください。

URL <https://youtu.be/-jhk3ilKcC4>

企業価値向上・持続的成長に向けて：新卒採用コンセプト動画「未来を拓く、共に歩む」を公開



URL <https://youtu.be/LVL3jXyic0k>

アドソル日進 YouTubeチャンネルにリンクします

Copyright © 2024 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

就活生に当社事業や成長性を理解いただき、アドソル日進の仲間として働くイメージを持っていただけるよう新卒採用コンセプト動画「未来を拓く、共に歩む」を公開しました。

URL: <https://youtu.be/LVL3jXyic0k>



## 地域・社会活動を推進(クリーンアップ活動ほか)

### ● NIPPON IT チャリティ駅伝への協賛

未就労者の社会復帰などの支援を目的に企画された  
チャリティ駅伝に、プラチナスポンサーとして協賛(12年連続)

当社社員がランナーとして本駅伝に参加



【主催】NIPPON IT チャリティ駅伝実行委員会  
【日時】2023年11月19日(日)  
【会場】お台場シンボルプロムナード公園 セントラル広場

### ● クリーンアップ活動

全国各地で実施されるクリーンアップ活動に  
ボランティアとして参加

#### - 大阪マラソン クリーンUP作戦

2023年2月17日(土)実施



#### - 東京ベイ・クリーンアップ大作戦

2023年9月9日(土) (悪天候により中止されたため自主的な清掃活動を実施)

#### - ラブアース・クリーンアップ2023(福岡地区)

2023年6月11日(日)実施

サステナブルな社会の実現に向けた取り組みです。  
全社での取組みに加え、拠点ごとでも地域・社会活動を行っています。

## 注意事項

- ・本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- ・又、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
- ・本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。
- ・尚、本資料に記載されている会社名及び商品名は、各社の商標又は登録商標です。

### ■お問合せ先



URL <https://www.adniss.jp/>

【本 社】 〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバーージュ品川  
TEL:03-5796-3131(代表)  
経営企画室 広報・IR担当 TEL:03-5796-3023 メール:ir@adniss.jp

Copyright © 2024 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

58

以上で、「2024年3月期」のご説明を終わります。  
ご清聴ありがとうございました。